

IV 自由記述意見

1. 男女共同参画について

- 女性の社会参画は必須です。実現のためのスキームづくりに県のロードマップを県民に提示する（できる）プラン策定をよろしく願います。（男性 40代）
- 意識調査の調査票がくるまで、岡山県に行っている男女共同参画社会実現のための施策について全く知らなかったもので、ウィズセンターなど、より多くの人に知ってもらえるような活動が必要なのではないかと思いました。（女性 20代）
- 理念等の啓発や教育だけではあまり意味がない。女性が社会進出するためには、子育て、家事と仕事を両立する環境が必要だが、現状では十分と言えない。男女が、社会的、経済的に平等となるためには、より柔軟な雇用制度の拡充が大切。女性の正職員（社員）が増えたとしても、家庭で男性が家事を分担してくれなければ意味がない。男女共同参画担当の部所だけでどうにかできる問題ではないと思うので、色々な部署と連携を図って、よりよい施策を推進してほしい。（女性 20代）
- 男女共同参画のために実際にどのようなことを県が行っているのか、具体的な活動等が身近に感じられない。男女の役割分担に対する固定観念（特に年配の方の）を改める施策が特に重要だと思います。（女性 40代）
- 男女共同参画社会の活動方針の活動内容があまりよくわからない。活動内容の一部を見てもどこどこへ社会見学に行って来ました等の内容の記事は目にしますが……。どの様な活動があつて、どの様な成果が出たのか？もう少し、広報等と活用して内容をPRしてはどうですか。活動に40代、50代の一番職場、家庭でも中堅でいる人のたくさんの参加があつても良いと思う。地域性もあると思うが。（女性 60代）
- この問題は長い歴史の中で培われてきたもので、施策や方針等だけでは、容易なことではない。住民の生活の場（年中行事、集会、催し物等）を通して少しずつ変わるものと思う。そうした住民の生活現場での変革に地道な支援が必要であり、大切であると思う。（少しずつの変革を支援する対策）肩の力を抜いた考え方で、住民と一緒に歩む姿勢が重要であろう。一緒にがんばりましょう！！（男性 75歳以上）
- 男女格差を感じる場面があまりありません。しかし、女性の立場に立ってみると、まだまだいくつもあると思います。女性が一定の割合で企業の管理職、幹部におられると、もっと良い方向に社会は変わっていくことでしょう。（男性 20代）
- 岡山県に引越してきて間もないので以前住んでいた府県と比べてしまうのですが、率直に言うとせっかく男女共同推進センターがあつても、広報活動が薄いと思います。市報とかテレビ・ラジオ等

で講座の案内とかあまりされていません。わざわざセンターに行ってチラシをもらうとかHPをみて調べるなど、ひと手間かかってしまうのです。もっと啓発活動をされるなら講座案内をもっと広くしたほうがよいと思いました。せっかく素晴らしい先生が来ていても皆様に伝わらないのは残念です。(女性 30代)

- 共同参画がどのような活動の場であるか中々日々を通して知ることがあまりないのでまずそれから勉強しなくてはと思います。地域でも活動の講演会等があるときは参加するのも良いかと思います。まず地域でだれもが参加できるよう広めていく必要があると思います。参加する人はいつも参加するということがないよう自分から出掛けて行き参加できれば良いと思います。家の中でひたすら自分だけの時間を過ごす人が田舎では結構あります。生涯学習のつもりで参加してみたいものです。(女性 60代)
- 現在、男女共同参画社会実現のために具体的にどのような施策が行われているのでしょうか？男女の地位、格差には根強いものがあり、個人でどうこうできるものではないのは事実です。でも、“男らしさ””女性らしさ”という言葉を使ってはいけないとか、ジェンダーとか、面倒なこともあったりと複雑です。今までも女性が我慢して世の中が円満に回っているので、やはりある程度女性が一步後ろにいる方が争いごとや、もめごととも起こらず平穩無事に過ごせる気がします・・・。(女性 50代)
- 自分自身は参加できませんが、県が動いてくれるということはずいぶん男女共同参画社会実現へ前進していると思います。ありがとうございます。(女性 40代)
- どんな施策をしているのか知りません。他府県よりも、男女共同参画に対する意識は低いと感じます。(男性 40代)
- 男女共同参画など目先だけの政策を考えるのではなく、基本中の基本、「家庭とはどうあるべきか」をもっと真剣に考えた方が日本の将来にとって1番重要だと思います。女性の社会進出を悪いとは思いません。しかしながら女性にしかできない「子どもを産む」こと。これだけは社会の制度をどう変えようが不変なことです。女性が家庭を守っていた昭和の時代、貧しくとも心が豊かであった時代をもっともっと真剣に考えて下さい。(男性 40代)
- 今、女性参画社会と言って何が何でも女性を管理職、重要ポストにと言うことには反対です。能力のある女性は別です。(男性 75歳以上)
- 男女共同参画といっても男性、女性それぞれ得意分野、不得意分野があると思うので、何でも平等とはいかないと思います。個人個人の得意分野を尊重し助け合えれば特別、女性男性と区別しなくても良いと思います。「男女共同」とわざわざ強調していること事態がおかしいと思っています。(女性 50代)

- 弱者を守るという部分については賛成です。それ以外の部分については、100%賛成とは言えません。あらゆるリスクをよく考慮の上、行っていただければと思います。よろしくお願いします。(男性 30代)
- 男女共同参画社会にする必要はない。男も女も自分のできる役割がある。(男性 40代)
- 男女共同参画社会を実現するためには男性の家事や育児に対する理解と協力が必要だと思います。岡山県の皆さんがお互いに仲良く活動できる男女共同参画事業の計画を立ててみてはいかがかと思ひます。男女仲良く暴力のない岡山県を目指して欲しいです。(女性 40代)
- すべての人が、男女かかわらず尊重し一人ひとりの個性を十分に生かせることが必要ではないでしょうか。(女性 50代)
- まずは男尊女卑の意識改革を！(女性 50代)
- 男女平等と言う考えは良いと思うが、すべてが平等というのは違うと思う。理由は、身体的な差(筋力等)があり、そのところは思いやりの精神として男性は力仕事を女性より率先して等があると思ひ、小さい頃から教育が良いと思う。(男性 30代)
- 私、個人の意見として、すべての人が平等にというのは無理だと思います。女性に、男性と同じ肉体労働は無理ですし、男性が女性と同じ様に子育てができるかといえればできないと思ひます。私としては平等な社会よりは男女が、その時に必要とする社会的なサービス(例→介護など)を受けられる社会であってほしいです。男尊女卑を指示するわけではないですが、それぞれにできることをする。無理強いではなく、自分から参加できる社会になってほしいです。(女性 20代)
- 無理矢理すべて男女平等は必要はないと思う。(男性 40代)
- 岡山県で暮らしていることを誇りに思えるように、男性も女性も性の差別を感じることなく仕事や日常生活を送れるようにしてほしいです。様々な機関や家庭でみんなの意識改革から始めるように啓発して行ってほしいものです。(男性 40代)
- 男性と女性は平等ではない。男には子どもが産めない。もともと平等ではないから個人で話し合うことが必要。(男性 60代)
- 女性をやる気、能力により平等に扱うべきだ。過度に女性を優遇すると本人も負担になるし回りも迷惑する。女性管理職等を育てることが重要だ。女性自身も前に出て行く気持ちとスキルアップが必要なのでは・・・。(男性 70代)
- 男も女もすべて同一の権利を有する。個性を能力により家庭内、会社内で多少の分担域があるも解消に向け、努力しなければならない。すべて平等である。(男性 不明)

- 男女が平等にという視点は必要ですが、過度に意識しすぎ。女性の権利を主張しすぎてしまう社会はよくないと思います。「男性の」「女性の」と意識する必要すらない世の中になれば良いですが、今は平等を目指しながらも「女性のための・・・」等区別したいのか平等にしたいのかわからない方針が世の中に多すぎます。(男性 30代)
- 昔は社会的に男性が優遇されていたが最近は何かにつけ守られていると感じます。私は女性ですが、男女の差が少なく、女性にとってはむしろ男性の方が少しのことでもセクハラ等と言われるようで男性が気の毒だと感じます。今の若い女性は幸せですね。(女性 60代)
- 男女共に個々人が個性を生かし充実した人生を送れる社会であるよう望んでいます。だが、平等一辺倒ということには疑問を感じます。男女の性差はやはりあります。また、人生のスタートはそれぞれの人で異なります。その上でいかに生きていくか、すばらしい人生を送っていくか、“その人の腕の見せどころ”と私は思っています。(男性 60代)
- 男女平等という言葉の意味をしっかりとつかまないと、お互いが平等だから何をしてもいい何を言ってもいいと尊重できない危険性もあると思う。男女の「違い」というものは必ずあるもの(肉体的、精神的)なので、その違いを十分理解した上でお互いを尊重し、その上で平等ということを考えていけばすばらしい社会になっていくと思う。この内容(アンケート)の中に幼い頃から平等のしつけをする、みたいなことがありましたが、各過程で幼い頃から子どもへの上記の様な事柄をしっかりと伝えていくことが必要だと思います。どうぞ、日本が日本らしく文化も残しながら国際社会の中で輝いていけますように、慎重に施策がまとまり実現できますことをお祈り申し上げます。(女性 60代)
- 家事や外での仕事、地域の活動など向き不向きがあり、男女平等ばかりを強調すること自体が適切ではないように思います。(女性 30代)
- 私は基本的に男性は家事をするより仕事、女性は子育て、家事をするのがよいと思っている方です。男女平等がよいという風潮がありますが、皆がそう思っている、特に女性がみんなそう思っていると考えてほしくないです。(女性 40代)
- 「男女平等の世の中を目指している」とは言っているが、女性専用の車輛、店舗など男性の禁止の入ることができない場所もある。これでは男女平等とはならないのではないだろうか。(男性 20代)
- 実際にその立場になってはじめて経験することや、わかることがあるので、より多くの人の意見が必要なのだと思います。どんなことが、男女平等といえるのかはよくわかりません。男性ならではの、女性ならではのできること、できないことがあるので、それぞれの良いところ、足りない部分は補えあえたらいいと思っています。平等って難しいと思います。お互い思いやりが大事だと思います。男の人は女の人を女の方は男の人を。他者を思いやることが大事だと思います。(女性 30代)

- 女性と男性が同等を考える以前に人間としてお互いを尊重していけば自然に意識の上で同等になっているのだと思います。男性にできること、女性にできることの区別はあると思います。これを差別ととらえるのはおかしいでしょう。(女性 70代)
- 私は男女がすべて平等とは思っていない。状況にもよるが、優遇される事項は各々分かれて当然だと思う。男女各々に対し見合った社会作りを期待する。(男性 30代)
- 能力のある女性には男性より昇進を早く、また、ふさわしい仕事を与えること。(女性 75歳以上)
- 具体的な取り組みを目にする機会が少ない。男女平等とはうわべだけのような・・・。(男性 不明)
- 男女差別で女性が優遇されていないと言うテーマのアンケートのように思いますが。男女は体も性格も違います。したがってすべて男女平等というのはおかしい。それぞれにあった差別を考えるべきだと思います。(男性 60代)

2. 学校教育について

- 高齢化社会に備えて男性も介護に参加しやすい環境の整備をしてほしいです。離婚、もしくは死別など家族がいなくなった場合に貧困に陥らないようにしてほしいです。子ども達には良い教育を与えてほしいです。(親の収入にかかわらず) (女性 60代)
- 昭和生まれの戦前、戦中、戦後の教育を受けていますので、現在のような社会情勢にはいつも戸惑いを感じるのが事実です。昔の方が良いと懐かしむ気持ちもあり、いわゆる民主主義時代になって良かったという気持ちのあることも事実。しかし現在やや行き過ぎ(?)これでいいのかと思うことも事実。特に教育現場(小学校、中学)に物足りないものを感じます。教育に携わる人々の人格、教養の先でやや不満があります。昔の教育関係の人は立派な方が多かったです。影響を受けることが多かったです。(親の次に先生が大事) (女性 75歳以上)

3. 子育てについて

- 女性が早く結婚して子どもを産み育て、親の手助けをうけながら子どもが育ったときには女性も早く社会に参加して、家庭と両立させて収入も得て少しでも豊かさを実感してもらいたいです。(男性 70代)
- 共働きの子どもに対する支援を充実する必要がある。核家族であっても、安心して子育てできる体制を実現させてほしい。(女性 60代)
- 社会的にサラリーマン中心の考え方が多いですが、自営業に対する考えも持ってほしいです。世の中の”あたりまえ”を作っている専業主婦の方々にはいつも悩まされます。学歴、習い事中心の考

えで子育てを勘違いしている主婦が多いと思います。しつけやルールは二の次で勉強ができる子が良い子と判断されている世の中を変えてほしいです。子どもを育てる親（母）をもっと教育してもらいたいです。男女平等とはちがうのかもしれませんが、夫婦間の問題を考えてみたらどうでしょうか？！孫の面倒を見る世代の方々にも考えていただきたいものです。「母親としての子育て」「父親としての子育て」「高学歴を望む家庭」など考えていただきたいものです。（男性 40代）

- 子どもが社会へ出る前にしっかりと親がモラルを身につけさせるための教育を行うべき。そのためには、親も勉強するべき。今回のアンケートを通して、たくさんのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。近頃の辛い事件では男性から女性への暴力や殺人等が目立っている印象を受けます。男性への女性に対する教育を行うべきかと考えます。（女性 20代）
- 保育所を充実させて、20時ぐらいまで見てほしい。（男性 60代）

4. 働く環境について

- 男女の別なく、また高齢者でも健康な人で仕事を持ちたい人に働ける場が欲しい。例えばシルバー人材センター等の活用でもっと細分化し需用と供給がマッチングすればそれぞれできる仕事してもらいたい仕事はたくさんあると思う。多様な働き方に対応する多様な仕事の細分化。「便利屋」的な仕組ができれば・・・。（男性 70代）
- 経済が困窮し社会的に制度も増々複雑化し個人情報保護法によるコミュニケーションの取り方も難しくなり、生活保護受給者も増加している現在において、男性であるべき、女性であるべき姿とはかけ離れた社会の仕組みの中で、日々を仕事と生活に追い立てられて生きており、時代的には女性よりも職業的には男性の方が就職も難しく、働きにくい社会になって来ているように感じています。もっと働き手の給金を上げて行かなければ税金も支払えない社会になり、経済も立ちゆかず、女性の地位向上だけでなく、男性の地位が崩れ、人間性さえも崩壊して来ているように思います。（女性 50代）
- 結婚し出産育児後の再就職がスムーズにいくようにフレックス制、休暇届がしっかり確立したら良いと思います。（女性 60代）
- 介護福祉士で働いている人々の給料を少しでも上げていただくことをお願いいたします。体がもたないというのが現実です。（女性 30代）
- 女性の役職（管理職）は少子化、家庭不和の要因になりやすい。（女性 70代）
- 育休復帰後の職場のケアが大切。（男性 20代）
- 育児休暇、介護休暇はとても大切なことと思う。だが、休暇をとることにより周りの職員にしわ寄せがくる。他の者の健康管理、仕事の内容の改善も必要と思う。（女性 50代）

- いくら我々30代の人間が認知しようとも、管理者の権限でいかようにも変えられてしまうものにどのように対処できるのでしょうか？私はこの問題の根本的にあるものは極めて構造的なもの、例えば年功序列のようなものが未だに社会全体を圧迫している以上、激的に変化させることは不可能だと思う。一人ひとりに啓蒙し、正しい知識を持つ者の裾野を広げ、その人達が徐々に高齢になって、また裾野を広げたという形が解決への早道ではないかと思う。(男性 30代)

5. DV・セクハラについて

- 今の職場で2度セクハラが問題になったが、被害者の女性が相談窓口である上司に相談すると、上にあげまいと全力でセクハラの実事をもみ消しました。自分の退職金が減らされるかも知れないからでしょう。何事もなく、退職したい。もちろん上司は男性。回りの男性達はセクハラ自体あったのかと疑っていました。この調査が未来を変えてくれることを願っています。よろしくお願いします。(女性 30代)

6. 行政について

- 男女共同参画社会実現のための施策で県が取り組んでいる具体的内容をもっと県民にわかり易く伝えてほしい。(女性 50代)
- PRが不足している。(男性 50代)
- 老人→増：老人施設を増やす。児童→減：子どもが楽しめる、健康的な場所作り。若年者→都会へ：働きやすい市づくり。住みやすい市づくりをしてほしい。(女性 40代)
- 岡山県が率先して女性管理職を増やしその取り組みを強化してほしい。(女性 60代)
- 施策内容をもっと県民にわかりやすく提示してほしい。(女性 30代)
- いろいろ考えて実行に移す努力が感じられます。新しい風を少し感じます。住みやすい岡山になってほしいと願っています。(女性 60代)
- 啓発活動としてパンフレット等で作られているようですが意識として感じられるまでにはなっていないように思います。国や県の政策もあまりはっきりしないような気がします。自分の子どもの頃の教育、社会環境のせいかとも思います。ずっと受け入れられない古い考えが根強くあるような・・・。(女性 40代)
- 岡山県の施策を不承知です。どんな施策をやっているのかPRすることが重要ではないかと思いません。(男性 70代)
- 行っている政策や活動などもう少し大々的にPRしてほしい。どのようなことが行われているか、

知らない。(女性 20代)

- 県が何を行っているのか、今まで無関心だったため、まったく把握しておりません。今後は、HP等を通して積極的に理解し、参加できるものに関しては、参加していきたいと思っております。引き続き頑張ってください。(男性 30代)
- 県内各地に男女共同参画推進センターはあるがなかなかその活動が表だって見えていないように思う。(女性 40代)
- 寡婦に対する考え方が県下で統一されていない。ひとり親世帯への保育料でみなし控除対象に未婚や夫が含まれない市町村の方が多い。(女性 40代)
- 施策に携わっている方々の多くが考え方で参画社会を理解できているのでしょうか。たとえば国会議員の男性の口から出て来るホンネ！建前としての取り組みでは前進は望めません。若い方で(県職の)がんばれ。理想を造ってほしい。(女性 60代)
- 社会の中で長となるものがいて、まとまりがある。男女共同参画というと家庭の長たる主人を否定するような気がする。人間いろんな人がいるので、女性でも専業主婦がいいと思う人、働きたいと思う人いろいろです。働きたい人のために保育所を充実させるなどのことは必要と思うが、女性に働け、主人を立てなくても良い(共同参画)少し違うかな。行政が積極的にやる必要はないのでは。自然に任せたらどうか。女性でも頑張る人は頑張る。(男性 60代)
- 今回初めて参加しました。とても難しいアンケートでした。岡山県の行っている男女共同参画社会、どういうことを行っているのかですら、理解できていません。一般市民、特に私のように家にずっといる人にわかりやすく新聞、広報紙などで伝えてほしいです。(女性 40代)

7. アンケートについて

- この意識調査は、男女別に調査すべきです。この内容だと女性の意見を聞きたい感じにみえました。男女は考えていることや感じたことそれぞれ違うと思います。男性の意識改革をしないと変わらないし、女性も同じと思うけれど、観点がちがうといつまでも噛み合わないと思います。(女性 40代)
- 調査がよりよい取り組みになりますように。(男性 60代)
- 問27、重要な権利だと思いますが、初めて聞きました。(女性 30代)
- このアンケートの意味がわからない。多くの女性は主婦になって夫に出世してほしいと思っていると思う。労働者は男性の方が多い。その比率分出世すると思う。実力のある女性は出世すると思うし、出世してほしい。父子家庭より母子家庭の方が補助があるし、男性から見ると女性の方が恵ま

れていると思う。(男性 40代)

- 質問の中には、答えたくない内容もありましたので、未回答もできたらいいと思いました。(女性 30代)
- このアンケートは若い人にしてもらって下さい。(女性 70代)
- 男と女の違いがあつてあたりまえ。こんなくだらないことをしないでほしい。(女性 70代)
- 正直、こんなアンケートなどあまり意味がないように感じられます。こんなので本質は変わりにくいと思うし、何の解決にもならないと思います。わずらわしく面倒です。それにアンケートを催促するようなハガキをまた郵送したりして、まじめに答える気持ちが削がれます。社会は良くなってもらいたいとは思いますが、もっと違う形の意識調査と方法があると思います。(男性 40代)
- このようなアンケートの機会をありがとうございました。私は、基本の考え方として社会性はまず家族から学ぶと思っております。良き家族とは一人ひとりがきちんとした考えをもっていること。それは、幼い日々の正しい導きでありましょう。このようなアンケートを通して共通の正しい概念が一人ひとりに共有できますことを願っております。(女性 50代)
- 話し合う議題が身近に感じられなくて興味がわからない。(女性 60代)
- 行政調査に協力するにあたって、アンケートに答えると何か特典を設けた方が良くはないのでしょうか。(男性 20代)
- 年寄りにはあまり関係がないように思えます。(女性 60代)
- 色々の部署、市町村などからアンケートがあり、答えています、それがどのように活用され、どんな改善がされたのかまったくわかりません。そもそもアンケートが必要なのかと思う間もある気がします。3,000人のアンケート、何人返っているのでしょうか。結果もわからないので、よく抽出に当たりますが、今までアンケートに答えて良かったと思えるほどの気持ちになったことはありません。アンケート結果で改善されたことを教えていただければ幸いです。(女性 40代)

8. その他

- 主人も私も今は、子どもたちが独立し出て行き2人ですが、主人の年金生活をしておりますが、早くからこんな生活で良いのかと思いつつパートなどしながら暮らしております。嫁と長男たち孫たちのために何かができると思いつつ嫁と長男が働けるよう孫の面倒など協力しております。こんなことも少しでも参画社会に役立っているのではと感じております。社会がもっとお互いに協力が大切だと思います。(女性 50代)

- 住みやすい岡山になるよう頑張ってください。応援しています。(男性 40代)

- どんな企画も土台がしっかりしていないならやらない方がよかったみたいになる。岡山も夜中にバイクが空ぶかししてうるさくするくらいには治安が悪い。派遣で他の地域から来た人のガラが悪い。ゲームセンターでたむろっている未成年もいい子ばかりではない。男女間の差別だけクローズアップすればいいというものではない気がします。(男性 40代)

- 結婚しないできない、したくてもできない人がたくさんいらっしゃいます。積極的に結び付ける策を考えていただいてもっと若い人を増やしましょう。(男性 60代)

- この調査の主旨に合うかどうかわかりませんが、女性の高齢者の職がないと年金だけでは生活できない(特に一人身の者)生活保護受給者より収入が少ないが、介護保険など支出が多く持家の人と借家の人など区別して欲しい。(女性 60代)

- 職員の皆様方、県民のためにご尽力くださりご苦労様です。お疲れ様です。私は高齢となりましたが、このような意識調査に参加させていただきうれしく思っています。男女ともに人権を尊重し、平和な生活を送っていくべきことは、昔も今も大切なことです。70才でもできることがあればボランティア各方面に伺っています。学ばせていただくことがたくさんあります。調査結果が楽しみです。(女性 70代)